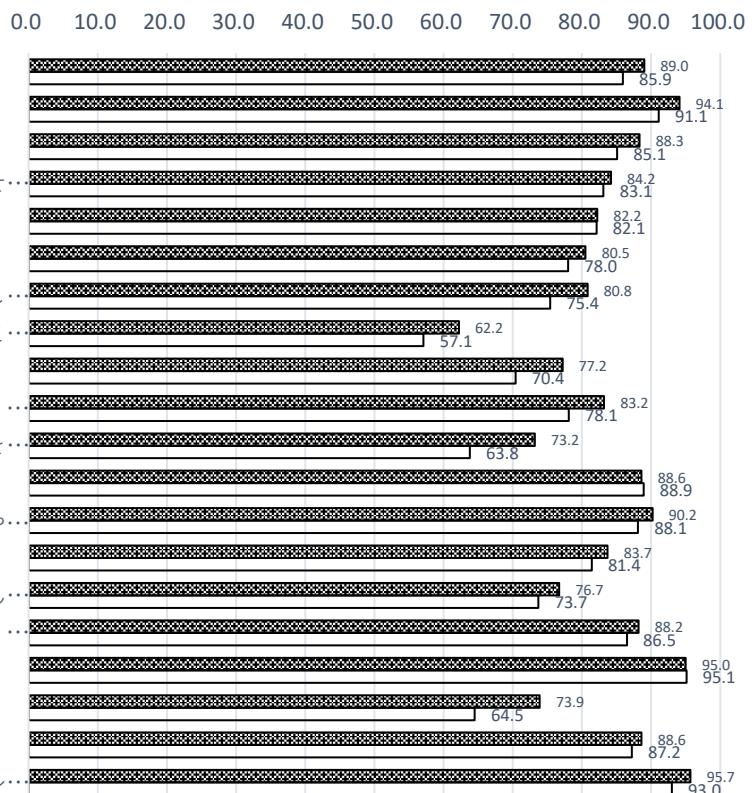


学校評価（児童）

| | 観 点 | 7月 | 12月 | 増減 |
|----|--|------|------|------|
| 1 | がっこうにいくのがたのしい。 | 89.0 | 85.9 | -3.1 |
| 2 | せんせいのせつめいはわかりやすい。 | 94.1 | 91.1 | -3.0 |
| 3 | せんせいは、がんばったことやよいところをほめてくれる。 | 88.3 | 85.1 | -3.2 |
| 4 | こまったときやなやんだときにそ.udanにのってくれるせんせいがいる。 | 84.2 | 83.1 | -1.1 |
| 5 | いま、しょうらいのゆめや、もくひょうがある。 | 82.2 | 82.1 | -0.1 |
| 6 | じぶんからさきにあいさつをしている。 | 80.5 | 78.0 | -2.5 |
| 7 | チャイムといっしょにがくしゅうまえの「もくそう」をしている。 | 80.8 | 75.4 | -5.4 |
| 8 | じゅぎょうでじぶんのかんがえたことをはっぴょうすることができる。 | 62.2 | 57.1 | -5.1 |
| 9 | すすんでどくしょをしている。 | 77.2 | 70.4 | -6.8 |
| 10 | くつやスリッパのへりをそろえてかたづけをしている。（くつばこ・トイレ） | 83.2 | 78.1 | -5.1 |
| 11 | そうじじかんはさいごまでおしゃべりをしないでそ.udjをしている。 | 73.2 | 63.8 | -9.4 |
| 12 | がっこうのきまりをまもり、あんぜんにきをつけている。 | 88.6 | 88.9 | 0.3 |
| 13 | 「てくてく とうこう」をしている。※こうもんのまえやがっこうちゅうしゃじょう | 90.2 | 88.1 | -2.1 |
| 14 | ふわふわことばをつかうようにきをつけている。 | 83.7 | 81.4 | -2.3 |
| 15 | テレビやゲーム、スマホやタブレットなどをつかうじかんをきめている。 | 76.7 | 73.7 | -3.0 |
| 16 | まいにち、しゅくだいやじぶんでかんがえたかていがくしゅうをつづけている。 | 88.2 | 86.5 | -1.7 |
| 17 | あさごはんをたべて、とうこうしている。 | 95.0 | 95.1 | 0.1 |
| 18 | ちいきのぎょうじにさんかしている。 | 73.9 | 64.5 | -9.4 |
| 19 | ひとのはなしは、め、みみ、こころできくようにしている。 | 88.6 | 87.2 | -1.4 |
| 20 | じゅぎょうでパソコンやタブレットをつかうときはルールをまもっている。 | 95.7 | 93.0 | -2.7 |

学校評価（児童）



■ 7月 □ 12月

<全体的傾向と課題、その対応策について>

●20項目中、12項目で80パーセント以上と肯定的な意見がみられたが、7月に比べ新たに80%以下に3項目が増え、8項目に増えている。多くの項目で、7月より肯定的数値が落ちている。

→多くの項目で、肯定的数値の変化があったが、数値的には、わずかの変化であった。変化が肯定的な方向に改善しなかった点を考えると、各項目について、課題や改善策を再度見直しが必要と考える。

●じぶんからさきにあいさつをしている。

→あいさつ運動の取り組みや、児童会の呼びかけ等が行われていたが、今後も主体的にあいさつできるような取り組みが必要と考える。

●チャイムといっしょにがくしゅうまえの「もくそう」をしている。

→与那原東っ子学びの約束を再確認し、学習規律の大切さを考えさせるとともに、指導として、もくそうが必要か検討する必要がある。

●授業の中で自分の考えを発表する。

→学び合う中で、互いの考えを交流する学習を校内研の取り組みとして進めてきた。ペアやグループでの活動では、意見交換ができる様子が多くある中、全体の場ではまだ難しいと感じている児童が多いと考える。今後とも、自分の考えを表現できる児童の育成を校内研や授業改善を通じて図っていく。

●進んで読書をしている。

→読書月間等、読書活動を進める取り組みや学習に図書資料を活用する取組を今後も進めていく。

●くつやスリッパのへりをそろえてかたづけをしている。（くつばこ・トイレ）

→委員会が学級対抗でのコンテストの取り組みを行うなど、片付けの意識を高める取り組みを行ってきている。今後もその取り組みを継続し、改善につなげていきたい。

●掃除時間は最後までおしゃべりをしないで掃除をしている。

→学力推進担当から提案のあった学校統一した取り組みを進めている。今後もその良さを職員で共通理解を図りながら推進していく。

●テレビやゲーム、スマホやタブレットなどを使う時間をきめている。

→外部講師を招いた講話などを実施するなど児童や保護者に今後も依存症や使いすぎることによる弊害について紹介していく。

●地域行事に参加している。

→今後も、PTAや学校運営協議会においても改善策について検討していく。